

大砲づくりに挑んだ男たち――

幕末長州藩の科学技術

2006年
2月4日(土)～4月9日(日)

ギャラリートーク
研究員による展示解説

2月4日(土)、3月4日(土)・25日(土)
午後1時30分から約1時間

関連事業
第2回 佐賀・鹿児島・萩リレーシンポジウム
「近代を開いた江戸のモノづくり
～幕末の地域ネットワークと
近代化の諸相～」

2月18日(土) 午後2時～午後5時
萩博物館講座室 無料

■開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

■休館日：なし

■観覧料：大人500円 高校・大学生300円
小・中学生100円
【団体割引】30名以上 20%引き
【身障者割引】20%引き

■駐車場：普通車66台 バス8台

後援 文部科学省科学研究費特定領域研究「江戸のモノづくり」総括班、
山口県、山口県教育委員会、幕末長州科学技術史研究会
特別協力 山口県埋蔵文化財センター、佐賀県立佐賀城本丸歴史館



Hagi Hakubutukan

萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地

TEL: 0838-25-6447 FAX: 0838-25-3142

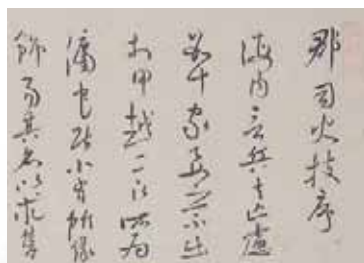
E-mail: muse@city.hagi.yamaguchi.jp



オランダ製 29 ドイムモルチール砲
佐賀県立佐賀城本丸歴史館蔵



象眼儀
郡司聰氏蔵



荻生徂徠筆 郡司火技序
郡司信興氏蔵 (萩博物館保管)



郡司賢道画像
郡司信興氏蔵 (萩博物館保管)



地球儀
萩博物館保管

企画展 「幕末長州藩の科学技術 —大砲づくりに挑んだ男たち—」

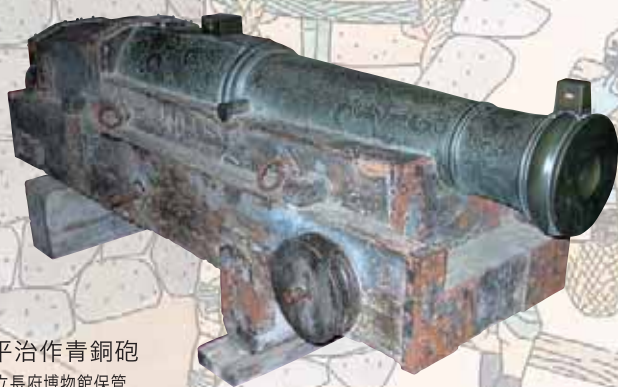
近年、萩市内の郡司鑄造所跡から、幕末期に長大な洋式大砲を鑄造した、国内唯一といわれる石組の遺構が発掘されました。

郡司鑄造所は、長州萩藩を代表する鑄物師の郡司家の工房で、江戸時代を通じて銅や鋳先、梵鐘など、様々な金属製品を生産しました。ところが、幕末期に欧米列強に対する危機感が高まると、藩は同所を大砲鑄造所に指定し、洋式大砲の鑄造を命じたのです。

発掘された石組は、その当時に、日本の伝統的な技術によって洋式大砲をつくった遺構であることが判明しました。この研究成果は、萩博物館を核に活動する市民研究グループ「幕末長州科学技術史研究会」と、理系・文系の垣根を越えて全国の研究者が参加している「江戸のモノづくり」プロジェクトとが連携したことでにより生み出されたものです。

また現在は、石組遺構の移築保存が完了し、考古や歴史、科学技術史などの専門家から熱い注目を集めています。

本展覧会では、発掘された様々な遺物や、近年当館に寄託された郡司家秘蔵の文献などを通して、郡司家と鑄物づくり、および砲術との関係を明らかにします。そして、激動の幕末期に、日本の伝統的な鑄造技術によって洋式大砲をつくるという空前の大事業に、郡司家の男たちがどう立ち向かったか、その格闘の軌跡に迫ります。



郡司喜平治作青銅砲
下関市立長府博物館保管
【写真展示】



24ポンドカノン砲模型
周南市美術博物館蔵

◆ 関連事業 ◆

◎ 第2回 佐賀・鹿児島・萩リレーシンポジウム

「近代を開いた江戸のモノづくり～幕末の地域ネットワークと近代化の諸相～」

日時：2月18日(土) 午後2時～午後5時 場所：萩博物館講座室 無料

◎ 記念講演会(予定)

日時：4月8日(土) 午後1時30分～午後4時 場所：萩博物館講座室 無料

Hagi Hakubutukan
萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355
TEL: 0838-25-6447 FAX: 0838-25-3142
E-mail: muse@city.hagi.yamaguchi.jp

- ◎ JR東萩駅よりタクシー10分、徒歩25分
- ◎ 萩バスセンターよりまあーバス西回り5分「萩博物館前」下車
- ◎ 中国自動車道小郡IC、美祿ICより50分
- ◎ 山陽自動車道防府東ICより60分

